

# 空間デザイン検討委員会での検討状況

---

(第3回 高田松原津波復興祈念公園 有識者委員会 資料)

平成28年9月29日

# 1. 空間デザイン検討委員会の概要

## ○主な検討事項

- 公園における空間デザインの検討
- 道の駅・伝承施設に係る空間デザインの調整
- 協働体制検討WG、震災津波伝承施設検討委員会での検討事項を反映した空間デザインの実現

## ○委員名簿

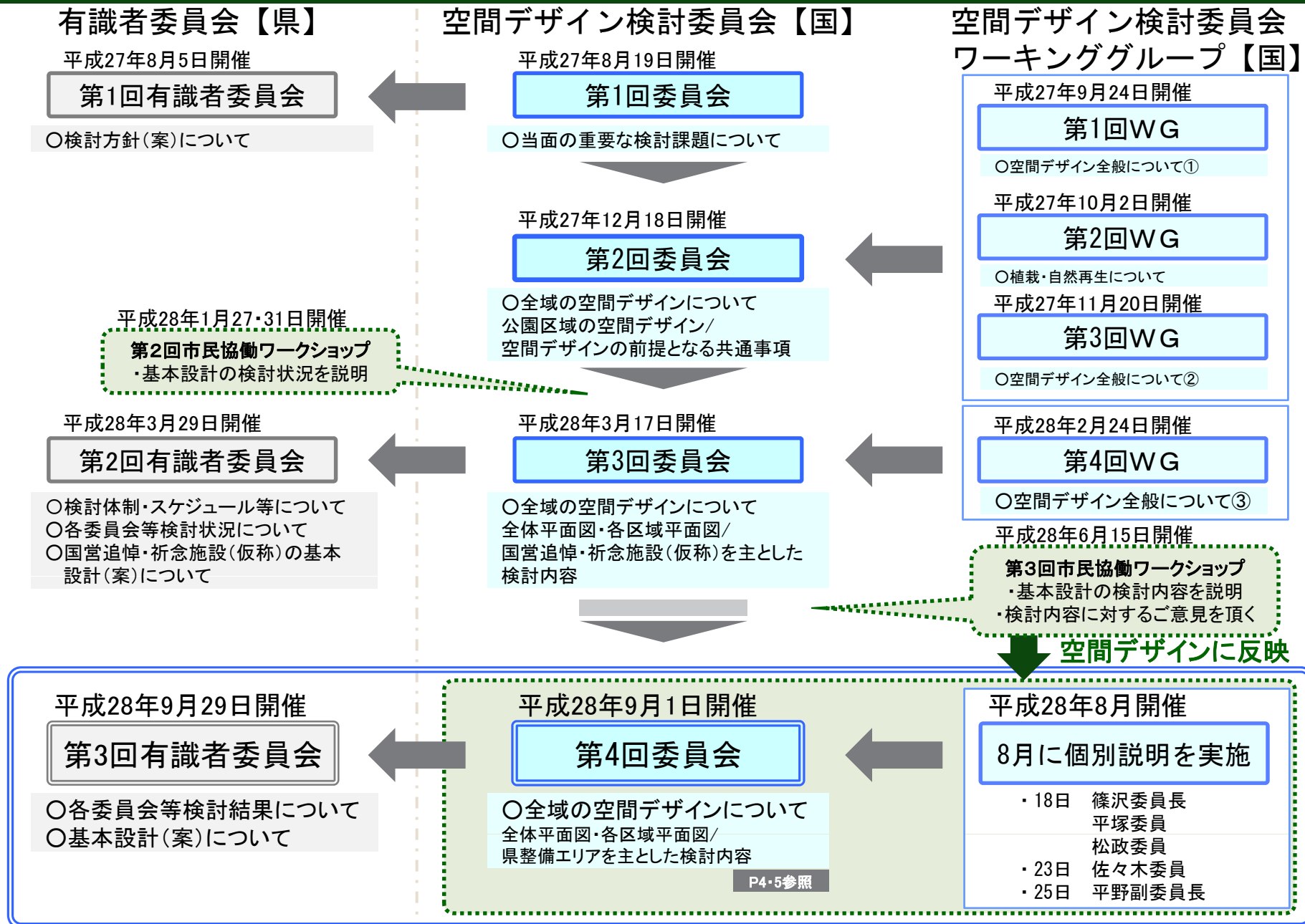
(敬称略)

区分	氏名	所属・役職等
委員長	篠沢 健太	工学院大学建築学部教授
副委員長	平野 勝也	東北大学災害科学国際研究所准教授
委員	平塚 明	岩手県立大学総合政策学部教授
委員	松政 正俊	岩手医科大学教養教育センター生物学科教授
委員	佐々木美代子	陸前高田市地域女性団体協議会幹事

## ○事務局

東北国営公園事務所  
三陸国道事務所  
岩手県  
陸前高田市

## 2. 検討経緯



### 3. 第4回空間デザイン検討委員会における主なご意見

日時:平成28年9月1日(木) 13:30~16:45  
会場:エスポワールいわて 3階特別ホール  
出席者:篠沢健太委員長、平野勝也副委員長、  
佐々木美代子委員、松政正俊委員



#### <基本設計(案)の検討内容について>

##### ○市道

- ・特に市道ルート②について、公園を利用する歩行者の安全性の確保のための車両の速度制限方法と合わせ、歩車共存道路とする等、公園の景観に調和するような市道のあり方の検討が必要

##### ○気仙川右岸周辺区域

- ・市民ワークショップで公園内に果樹園・菜園等を設けることについての要望があったことをふまえ、今後市民が自由に参加しつくりあげていけるような市民協働エリアとすべき

##### ○植栽・自然再生計画

- ・松原は一年中緑一色であるため植栽の色合いが単調とならないよう、人が集まる場所には四季が感じられる植栽を行う等の検討が必要
- ・古川沼の水際の捨石護岸は、この場所が河口近くの下流であることや、河川計画は河川の護岸が必須ではないこと等をふまえ、この場所に本来あるべき景観や水際の植物の生育環境確保の観点から再検討すべき

#### <今後の継続検討事項について>

##### ○園路広場

- ・サイクリングやジョギングコース等を実際に利用する市民の意見を取り入れながら、公園のプランに反映していく必要がある

##### ○市道・サイン

- ・公園利用者の安全を確保しつつ、公園内の景観に調和するような市道のあり方を検討し、市・警察とも協議を行いながらより具体的な運用方法や道路施設、規制施設等のデザイン検討が必要
- ・交通標識については避難用サインと混在しないような配慮が必要
- ・市街地とも連携し、照明・サイン・交通標識を含めた一体的なサイン計画の検討が必要

### 3. 第4回空間デザイン検討委員会における主なご意見

#### <今後の継続検討事項について>

##### ○植栽・自然再生

- ・自然再生計画では細かな水位設定が重要となるため、地盤沈下の回復(隆起)のリスクに留意して検討をすべき
- ・重要種に適したより具体的な移植候補地・移植手法等について、自然環境の状況をみながら平塚・松政先生のご意見を伺い、引き続き検討が必要
- ・国道45号の植栽について、公園内の植栽計画と一体的なものとなるよう三陸国道事務所と連携した検討が必要
- ・市民がプランへの愛着を持ち、誇りを持てるよう、わかりやすく地域性やオリジナリティのある基本方針やゾーニング名称等を検討すべき

##### ○その他

- ・維持管理コスト縮減のため、トイレ・シャワールーム等の便益施設は極力集約し、設備配管は必要最小限とすべき
- ・気仙川右岸周辺区域の高台は、高田松原を一望できる場所であるため公園利用と関連性のある土地利用を検討し公共性の高い民間施設等の誘致ができるとうい

#### <今後の空間・協働・伝承間の連携について>

##### ○震災津波伝承施設検討委員会との連携

- ・伝承施設と外部空間、遺構との空間的連続性や利用のさせ方については、3つの委員会・WGで連携した検討が必要
- ・刻石碑のあり方については、県全体の市町村の意向や伝承委員会での議論をふまえ、早めに方向性を決定することが必要
- ・遺構ごとにかつての使われ方・利用者の違いがあることをふまえ、みせ方や防災教育への活用方法の検討が必要

##### ○協働体制検討ワーキンググループとの連携

- ・WSでの意見をどのように設計に反映したのか、市民にきちんとフィードバックすることが必要
- ・高田松原の再生や自然再生に関する整備・管理等について植栽・自然等への関心が高い、「高田松原を守る会」等との協働が必要